

北九州高齢者福祉事業協会
会員法人 各位

令和4年7月27日
社会福祉法人 援助会
理事長 木戸 邦夫

新型コロナウイルス感染症陽性者発症の報告

暑い日が続いています。皆様方におかれましては、常日頃お世話になり感謝申し上げます。

さて、北九州でも新型コロナウイルス感染症 BA.5 の感染拡大が続いています。職員のご家族に関しての自宅待機が続く様相は法人に共通のリスク課題だと思いますが、表題の通り・・・

グループホーム事業所2ユニットの2階9名中5名の利用者様が本日陽性であることが判明しました。この2年強、相当の防疫対策を行いながら日々備えてきましたが、残念ながらこの事態に至りました。

会員法人の皆様には、ご心配またご迷惑をおかけし申し訳ありません。

なお、鋭意対策に取り組んでまいりますので、宜しくお願い申し上げます。まずは、本書面にて報告といたします。

以下、ホームページに掲載の一部です

グループホームで利用者様5名のコロナ感染が今朝判明しました。なお、青山、鷹見台と連携し、今日以降の対処を全ての面で検討中です。

- * グループホーム2階をレッドゾーンとして、陽性者の方は2階居室にて対応、またそのお世話職員を特定
- * 特定職員で帰宅後家族がいる職員は解除までホテル住まい
- * 1、2階利用者の食事は解消まで全て外注
- * グループホーム全ての職員に毎日抗原検査実施
- * 共有部分その他の外注コロナ消毒実施（明日）
- * 予防具の潤沢な確保済

その他、考えられる対応を全て駆使しながら解消に向けて取り組んでまいります。